

2021年11月4日

『長谷工グループCSR報告書 2021』公開

長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：池上 一夫）は、この度、当社グループの2020年度におけるCSR活動をまとめた『長谷工グループCSR報告書 2021』をホームページで公開いたしました。（<https://www.haseko.co.jp/hc/csr/report.html>）

長谷工グループでは、企業としての社会的責任の遂行を重要な経営課題と捉え、CSR活動に取り組んでいます。2018年に「CSRビジョン」及び「CSR方針」を策定し、環境・社会との共存共栄を果たし、持続可能な社会を実現するための方向性を示しました。その中で4つの取り組みテーマ（住んでいたい空間・働いていたい場所・大切にしたい風景・信頼される組織風土）を掲げ、関連するマテリアリティ（重要課題）とSDGs（国連による持続可能な開発目標）項目を特定しました。これら4つのテーマに沿った様々な取り組みは、年に1回『長谷工グループCSR報告書』にまとめ、冊子の発行およびホームページ上に公開しています。

今回公開した『長谷工グループCSR報告書 2021』では、トップメッセージにおいて、市場環境、課題認識や中期経営計画にもとづく取り組みの進捗、CSR経営の確立とさらなる発展について言及し、企業の目指す方向性を示しました。また特集では、長谷工グループのポジティブな未来づくりのために、日々の業務とSDGsのつながりや目指すSDGsのゴールに向けて現場で何ができるのかを長谷工グループ社員が語り合いました。

今後も、社会課題解決と企業価値向上の両立を目指して、様々なCSR活動に取り組むとともに、ステークホルダーの皆さまへの積極的な情報開示に努めてまいります。

『長谷工グループCSR報告書 2021』概要

[対象組織] 長谷工コーポレーション、子会社83社及び関連会社5社を対象

[対象期間] 2020年度（2020年4月～2021年3月）※一部対象期間外の情報も含む

[HP公開日] 2021年10月28日

[冊子発行] 2021年11月

[冊子形態] A4版73ページ 日本語（冊子・PDF）

[構成内容]

- 長谷工グループを知る
 - ・時代が求める、住まいの創造～集合住宅と長谷工のあゆみ～
 - ・データで見る長谷工グループ
- トップメッセージ
- 長谷工グループが描く未来
 - ・特集 SDGs ダイアログ
社員が語る長谷工グループの未来とSDGs
- 長谷工グループのCSRマネジメント
- 4つのCSR取り組みテーマ 2020年度活動報告

[PDF版ダウンロードページ]

<https://www.haseko.co.jp/hc/csr/report.html>



【長谷エグループのCSRマネジメント】

長谷エグループ企業理念

都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。

CSRビジョン

大切な暮らしを、もっと、ずっと。

私たちは、一人ひとりの暮らしに寄り添い、よりよい毎日を創っていきます。
未来を想うまちづくりに、人びとと共に挑戦していきます。

CSR方針

私たち長谷エグループは、CSRビジョンの実現に向け、次の方針のもとに、CSRへの取り組みを推進していきます。

1. 住まいと暮らしに関わる幅広い事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。
2. 環境や社会に配慮した事業プロセスの実現に向けた取り組みを、ステークホルダーと協働して推進します。
3. 生活者をはじめとする様々なステークホルダーの期待に応え、社会に新たな価値を生み出し続けていくために、グループ総合力を最大限に活かすマネジメントを強化します。
4. 企業活動のすべてにおいて、高い倫理観のもとに、法令遵守を徹底します。
5. CSR取り組みの継続的な改善を図っていくとともに、情報開示を積極的に進め、組織としての透明性を高めます。

4つのCSR取り組みテーマ

住んでいたい 空間	様々なひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き活きと過ごす空間をつくっていきます。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進していくとともに、さらなる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードにしていきます。
働いていたい 場所	多様な人々が活躍する、安全で生産性の高い職場をつくっていきます。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきます。
大切にしたい 風景	住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切にす現場・職場をつくっていきます。
信頼される 組織風土	ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していきます。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献の領域を常に開拓していきます。